

高齢者と若者を仕事でつなぐには

2年3組11番 門脇 龍晟

アブストラクト

高齢者がより長く働きやすいために、若者と高齢者を仕事でつなぐマッチングシステムについて探究している。

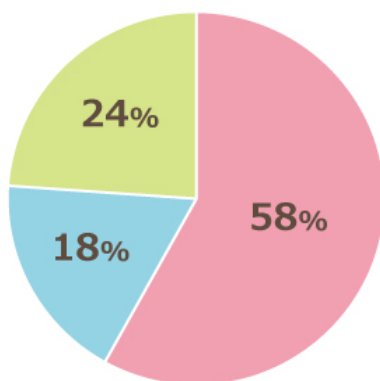
はじめに

高齢化が急速に進む日本で、定年退職年齢の引き上げを見据えて、高齢者がより長く働きやすくなるために何ができるか気になったからこの探究をしようと思った。

1 実験、文献調査、社会調査などの仮説を証明するための根拠について記載する



(図1 定年後の男女3700人に行われた定年後も働いているかのアンケート)



(図2 定年前の男女1451人に行われた定年後も働きたいかのアンケート)

(働きたい58% 働きたくない18% まだわからない24%)

2つのグラフを見ると定年後も働きたい、または働いている人が半数以上いることがわかる。こうした人たちがより長く働くためにはサポートが必要である。その1つとして仕事上で高齢者と若者を結びつけ、若者は高齢者の仕事の手伝いをするようなかたちで働き、高齢者は長年の働きによって培ってきた技術や知識を教えるような仕事形態があれば、どちらにもメリットがあり、労働人口の確保にもつながる。

2 結果。

定年後でも働きたい人が多いので、より働きやすい仕事形態があれば高年齢層の労働人口確保につながる。

3 考察。

どちらにもメリットがあるように若者(その仕事をこれから始めていく若者が対象)と高齢者を結び付ければ、高年齢層の労働人口確保につながり、高齢者にとっても働きやすい環境をつくることができるかもしれない。

4 まとめと結論。

若者は高齢者の仕事を手伝い、高齢者は長年の働きによって培ってきた技術や知識を教え、どちらにもメリットがあるような仕事形態があれば高齢者はより長く働きやすい。

5 課題。

まだ十分に探究できていないのでもっと具体的に結論や根拠を述べられるようにする。
若者と高齢者へのアンケートを実施する。

6 謝辞。

アドバイスをしてくださった先生方、ありがとうございました。

7 参考文献。

出典:60～79歳定年後の就業実態調査

(<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=429>)

出典:はたらこねっとユーザーアンケート-定年後の働き方について-
(<https://www.hatarako.net/contents/enquete/result/201810/>)